

<マニュアル訂正連絡票>

FUJITSU Software

ASP Webjet 使用手引書 V29

[J2K0-5890-01C2]

2021年12月23日発行

修正箇所(章節項) : 8.5.2 運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップ

以下の内容は、V29 (U21121 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

以下に運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップ手順を示します。また各画面の詳細を説明します。



新 記 事

以下に運用管理 WWW サーバからの Webjet , および Webjet AutoGUI オプションのセットアップ手順を示します。また各画面の詳細を説明します。



修正箇所 (章節項) : 8.5.2 運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップ

以下の内容は、V29 (U21121 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

Webjet 端末環境設定

Webjet 端末環境を設定するページです。

Webjet端末環境設定ページ

番号 : 操作 : Webjet端末環境名

0001 : 更新 削除 : 特定アクセス (装置記述選択)
0002 : 更新 削除 : 特定アクセス (プロフィール指定)
0003 : 更新 削除 : フリーアクセス
 : 新規追加 :

 : 運用設定

行う操作を選択し、決定ボタンを押してください。
新規追加の場合には、Webjet端末環境名を入力してから決定ボタンを押してください。
Webjetの運用に関する設定を行う場合には運用設定を選択してから決定ボタンを押してください。

行う操作を選択しOK ボタンを押して下さい。新規追加の場合には、Webjet 端末環境名を入力してからOK ボタンを押してください。

新記事

Webjet 端末環境設定

Webjet 端末環境を設定するページです。

Webjet端末環境設定ページ

番号 : 操作 : Webjet端末環境名

0001 : 更新 別名保存 削除 : 特定アクセス (装置記述選択)
0002 : 更新 別名保存 削除 : 特定アクセス (プロフィール指定)
0003 : 更新 別名保存 削除 : フリーアクセス
 : 新規追加 :

 : 運用設定

行う操作を選択し、[OK]ボタンを押してください。
新規追加の場合には、Webjet端末環境名を入力してから[OK]ボタンを押してください。
更新を選択すると、選択したWebjet端末環境の設定内容を変更できます。
別名保存を選択すると、選択したWebjet端末環境を参照して必要な箇所のみを変更することで、新しいWebjet端末環境が作成できます。
例) 動作Java種別がOracle版のWebjet端末環境を参照して、富士通版のWebjet端末環境を新規作成する
Webjetの運用に関する設定を行う場合には運用設定を選択してから[OK]ボタンを押してください。

行う操作を選択しOK ボタンを押して下さい。新規追加の場合には、Webjet 端末環境名を入力してからOK ボタンを押してください。

更新を選択すると、選択したWebjet端末環境の設定内容を変更できます。

別名保存を選択すると、選択したWebjet端末環境を参照して必要な箇所のみを変更することで、新しいWebjet端末環境が作成できます。

修正箇所（章節項）：8.5.2 運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップ

以下の内容は、V29（U21121 適用時以降）に限定される記事です。

旧記事

アプレットパラメタ設定

アプレットパラメタを設定してください。この設定により、Webjet アプレットの動作が変わります。

基本的な設定はこのページで出来ますが、以下のようなさらに詳細な設定を行う場合には“[8.5.3 運用管理WWWサーバで作成したWebjet 起動用HTML の編集](#)”を参照してください。

新記事

アプレットパラメタ設定

Webjetのアプレットパラメタを設定するページです。Webjet AutoGUI オプションのAutoGUIアプレットパラメタ設定については、『[Webjet AutoGUI オプション使用手引書](#)』を参照してください。

Webjetのアプレットパラメタを設定してください。この設定により、Webjet アプレットの動作が変わります。

基本的な設定はこのページで出来ますが、以下のようなさらに詳細な設定を行う場合には“[8.5.3 運用管理WWWサーバで作成したWebjet 起動用HTML の編集](#)”を参照してください。

修正箇所（章節項）：8.5.2 運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップ

以下の内容は、V29（U21121 適用時以降）に限定される記事です。

旧記事

登録完了ページ

登録が正常終了した場合には確認画面が出ます。

登録完了確認ページ

Webjet端末環境名：特定アクセス（装置記述選択）

正常に更新（追加）されました。

OK

新記事

別名設定ページ

別名保存の場合に、Webjet端末環境名を設定するページです。

別名設定ページ

Webjet端末環境名：

Webjet端末環境名を変更し、[OK]ボタンを押してください。

OK

キャンセル

Webjet端末環境名の初期値には、Webjet端末環境設定ページで「別名保存」を選択した番号のWebjet端末環境名が表示されます。新しいWebjet端末環境名を入力してください。

[OK]ボタンを押すと、入力したWebjet端末環境名で新たなWebjet端末環境が作成されます。

[キャンセル]ボタンを押すと、入力した内容は破棄され、Webjet端末環境名が初期値に戻ります。

登録完了確認ページ

登録が正常終了した場合には登録完了画面が出ます。

登録完了確認ページ

Webjet端末環境名：特定アクセス（装置記述選択）

正常に更新（追加）されました。

OK

2020年3月31日発行

修正箇所（章節項）：8.15 高解像度ディスプレイ向けのセットアップ

以下の内容は、V29（U20031 適用時以降）に限定される記事です。

旧記事

新記事追加

新記事

8.15 高解像度ディスプレイ向けのセットアップ

高解像度のディスプレイを使用した場合、ディスプレイエミュレート画面、コントロールパネル、メニューバー、メッセージやダイアログ、Webjet キーボードの表示内容などの文字サイズが小さく表示されます。

高解像度のディスプレイで Webjet を使用する場合は、下記のアプレットパラメタを設定し、文字サイズを大きくしてください。

- アプレットパラメタ"VFONTSIZE"（仮想フォントサイズの指定）
ディスプレイエミュレート画面のフォントサイズを指定します。
- アプレットパラメタ"CPFONTSIZE"（コントロールパネル、およびメニューバー上に表示するメニューのラベルのフォントサイズを指定）
コントロールパネル、およびメニューバー上に表示するボタンのラベルのフォントサイズを指定します。
- アプレットパラメタ"MSGFONTSIZE"（メッセージやダイアログのフォントサイズの指定）
エラーメッセージ、ダイアログ上のラベルやボタン、キーパネル、および機能キーのフォントサイズを指定します。
- アプレットパラメタ"WJKEYFONTSIZE"（Webjet キーボードの表示内容のフォントサイズ）
Webjet キーボードの表示内容に使用するフォントサイズを指定します。

上記のアプレットパラメタに設定可能な値とデフォルト値を以下に示します。

パラメタ名	意味	設定する値	デフォルト値	設定可能なエミュレーション種別	
				F6680	F6970
VFONTSIZE	仮想フォントサイズの指定	12	16	○	○
		14			
		16			
		18			
		20			
		22			
		24			
		26			
		28			
		30			
		32			
34					
36					

		40 ※2 44 ※2 50 ※2 54 ※2 60 ※2			
CPFONTSIZE	コントロールパネル、およびメニューバー上に表示するメニューのラベルのフォントサイズを指定	0 ※1 9~12 13~24 ※1 30 ※2 40 ※2	12	○	○
MSGFONTSIZE	メッセージやダイアログのフォントサイズの指定	0 ※1 9~24 ※1 30 ※2	なし	○	○
WJKEYFONTSIZE	Webjet キーボードの表示内容のフォントサイズ	0 8~36 40 ※2	0	○	○

※1 定期修正 U16091 適用後に指定可能な値です。

※2 定期修正 U20031 適用後に指定可能な値です。

代表的なディスプレイの解像度ごとに、表示可能な仮想フォントサイズの推奨値を以下に示します。

画面解像度	表示可能仮想フォントサイズ (注)		
	Webjet キーボードの使用：なし	Webjet キーボードの使用：あり	
		Webjet キーボードの表示位置：下	Webjet キーボードの表示位置：右横
640×480	12 ドット	—	—
800×600	16 ドット以下	—	—
1024×768	24 ドット以下	14 ドット以下	12 ドット
1280×800	24 ドット以下	16 ドット以下	18 ドット以下
1366×768	24 ドット以下	14 ドット以下	20 ドット以下
1280×1024	30 ドット以下	24 ドット以下	18 ドット以下
1600×1200	36 ドット以下	26 ドット以下	26 ドット以下
1920×1080	36 ドット以下	24 ドット以下	30 ドット以下
1920×1200	40 ドット以下	26 ドット以下	30 ドット以下
2560×1440	50 ドット以下	32 ドット以下	40 ドット以下
3840×2160 以上	全サイズ表示可能	50 ドット以下	全サイズ表示可能

(注) —：この画面解像度での使用を推奨しません。

表記のサイズは推奨値です。表示サイズは必要に応じて調整してください。

"Webjet キーボードの使用：あり"の推奨値は、デフォルトキーボードの表示結果を元としています。メニューバー表示あり／キーパネル表示なし／タスクバー表示なしの場合の表示可能フォントサイズです。

メニューバーのフォントサイズを大きくしている場合、およびキーパネルやタスクバーを表示する場合、表記のサイズで正しく表示されないことがあるため、必要に応じて仮想フォントサイズの指定値を小さくしてください。

40 ドット以上の仮想フォントサイズは、定期修正 U20031 適用後に指定可能な値です。

注意：

- アプレットパラメタ"CPFONTSIZE", およびアプレットパラメタ"MSGFONTSIZE"は、ディスプレイエミュレート画面のフォントサイズと同程度になるように指定してください。
- 運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップでは、アプレットパラメタ"CPFONTSIZE", およびアプレットパラメタ"MSGFONTSIZE"の指定ができません。運用管理 WWW サーバで作成した Webjet 起動用 HTML を編集して、アプレットパラメタを指定してください。編集方法は、「8.5.3 運用管理 WWW サーバで作成した Webjet 起動用 HTML の編集」を参照してください。
- アプレットパラメタ"MSGFONTSIZE"の指定によりメッセージやダイアログのフォントサイズを大きくしても、拡張漢字入力画面の漢字テーブル、および入力漢字フィールドの文字は拡大されません。

2019年9月30日発行

修正箇所(章節項) : 5.24 富士通 JRE 使用時の注意事項

旧記事

2019年6月25日発行のマニュアル訂正連絡票に対する訂正

「5.24 富士通 JRE 使用時の注意事項」の文末に新記事追加

新記事

- **JavaScript 連携機能の利用について**

JavaScript 連携の Connect 関数は使用できません。

修正箇所(章節項) : 5.25 Oracle JRE 使用時の注意事項

旧記事

2019年6月25日発行のマニュアル訂正連絡票に対する訂正

Oracle 社の JRE8 を利用する場合、Web サイトから JRE8u201(Java 8 Update 201)をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。JRE8u201 より新しいバージョンの JRE8 ではアプレットが動作しないため、アップデートは行わないでください。Oracle 社の JRE8 はすでに Oracle 社によるサポートが終了しており、Oracle JRE8 に起因するトラブルについては対応できません。

新記事

- **Oracle 社の JRE8 利用について**

Oracle 社の JRE8 を利用する場合、Web サイトから JRE8u201(Java 8 Update 201)をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。JRE8u201 より新しいバージョンの JRE8 ではアプレットが動作しないため、ア

アップデートは行わないでください。Oracle 社の JRE8 はすでに Oracle 社によるサポートが終了しており、Oracle JRE8 に起因するトラブルについては対応できません。

- **JavaScript 連携機能の利用について**

JavaScript 連携の Connect 関数は使用できません。

2019年6月25日発行

修正箇所 (章節項) : 5.24 富士通 JRE 使用時の注意事項

旧記事

新記事追加

新記事

5.24 富士通 JRE 使用時の注意事項

- **インターネットに接続できない環境での Webjet 起動について**

デフォルトゲートウェイを設定しないことでインターネットに接続できない環境を構築している場合、Webjet 起動時に表示されるセキュリティ警告ダイアログの“常に信頼する”を選択すると、ブラウザ画面に“アプレットの初期化中”が表示されたままで Webjet が起動されません。このような場合は、以下の手順で Internet Explorer の設定を行って、保護モードを無効にしてください。

1. Internet Explorer の「インターネット オプション」を起動してください。
2. 「インターネット オプション」画面の“セキュリティ”タブを選択してください。
3. “セキュリティ”タブの“インターネット”ゾーンを選択してください。
4. “このゾーンのセキュリティのレベル(L)”領域で、“保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要) (P)”のチェックを外してください。
5. “OK”ボタンをクリックして、変更した設定を保存してください。

Internet Explorer を閉じて、Webjet を再起動してください。

- **サーバと別セグメントにある端末からのファイル転送について**

サーバと別セグメントにある端末から FEXPORT/FIMPORT コマンドを実行する際、サーバ上のファイル転送パラメタファイルを指定したにも関わらず、毎回、送受信パラメタを設定する問い合わせ画面が表示される場合は、以下のどちらかの方法で、プロキシの除外リストに Webjet を利用するホスト名を追加してください。

- Internet Explorer の設定を行って、プロキシ除外を有効にする方法

1. Internet Explorer の「インターネット オプション」を起動してください。
2. 「インターネット オプション」画面の“接続”タブを選択してください。
3. “接続”タブの“LAN の設定(L)”をクリックしてください。
4. 「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」画面の“プロキシサーバー”領域で、“LAN にプロキシサーバーを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません）(X)”をチェックし、“詳細設定”をクリックしてください。
5. 「プロキシの設定」画面の“例外”領域で、“次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない (N)”に、Webjet を利用するホスト名を追加してください。
6. “OK”ボタンをクリックして、変更した設定を保存してください。

Internet Explorer を閉じて、Webjet を再起動してください。

- JBK プラグインの設定ファイル(jbkplugin.properties)に、プロキシの除外リストを記述する方法

1. 以下のパラメタすべてをセットで記述してください。デフォルト状態では、jbkplugin.properties 内のプロキシの設定行はコメント行('#'の付いた行)になっています。行の先頭の'#'を取り除いて、プロキシの設定を行ってください。

jbk.plugin.proxy.enable=true (HTTP プロキシを使用する)

jbk.plugin.proxy.http.host=HTTP プロキシのホスト名

jbk.plugin.proxy.http.port=HTTP プロキシのポート番号

jbk.plugin.proxy.override=Webjet を利用するホスト名 (HTTP プロキシを使用しないアドレスまたはホスト名のリスト)

2. 変更した設定を保存し、JBK プラグインの設定ファイル(jbkplugin.properties)を閉じてください。

Internet Explorer を閉じて、Webjet を再起動してください。

• リモートデスクトップ接続での Webjet 利用について

ディスプレイの拡大率に 100%より大きい値を設定している端末から、リモートデスクトップ接続で Windows 10 の端末に接続して Webjet を利用すると、Webjet エラー画面の下部が欠けて表示されることがあります。この場合、以下の手順で、リモートデスクトップの接続元のディスプレイの設定を変更してください。

○ 接続元が Windows 7 の場合

1. 「コントロール パネル」の“デスクトップのカスタマイズ”をクリックしてください。
2. “ディスプレイ”をクリックしてください。
3. “画面上の文字を読みやすくします”で、“小-100%”を選択してください。
4. “適用”ボタンをクリックして、変更した設定を保存してください。

○ 接続元が Windows 8.1 の場合

1. 「コントロール パネル」の“デスクトップのカスタマイズ”をクリックしてください。
2. “ディスプレイ”をクリックしてください。
3. “すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する”をチェックして、“すべての項目のサイズを変更する”で、“小-100%”を選択してください。
4. “適用”ボタンをクリックして、変更した設定を保存してください。

。 接続元が Windows 10 の場合

1. 「設定」の“システム”をクリックしてください。
2. “ディスプレイ”をクリックしてください。
3. “拡大縮小とレイアウト”で、“テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する”の“100%”を選択してください。

一旦サインアウトした後、再びサインインして、リモートデスクトップ接続を実行し、Webjet を再起動してください。

修正箇所（章節項）：5.25 Oracle JRE 使用時の注意事項

旧記事

新記事追加

新記事

5.25 Oracle JRE 使用時の注意事項

Oracle 社の JRE8 を利用する場合、Web サイトから JRE8u201(Java 8 Update 201)以前のバージョンをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。JRE8u201 より新しいバージョンの JRE8 ではアプレットが動作しないため、アップデートは行わないでください。Oracle 社の JRE8 はすでに Oracle 社によるアプレットのサポートが終了しており、Oracle JRE8 に起因するトラブルについては対応できません。

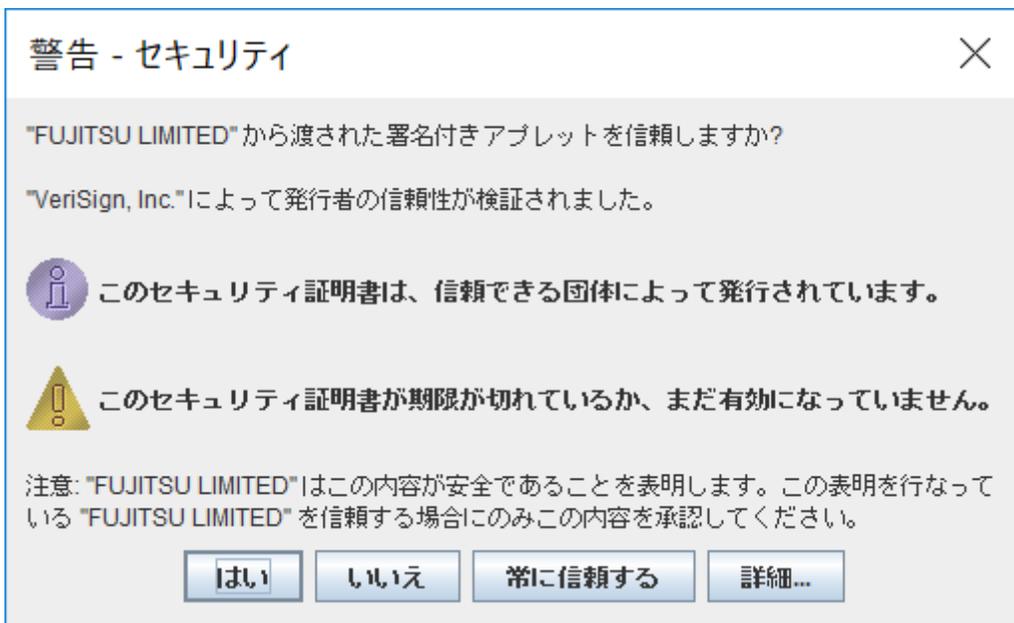
2018 年 12 月 25 日発行

修正箇所（章節項）：6.9 アプレット認証について

旧記事

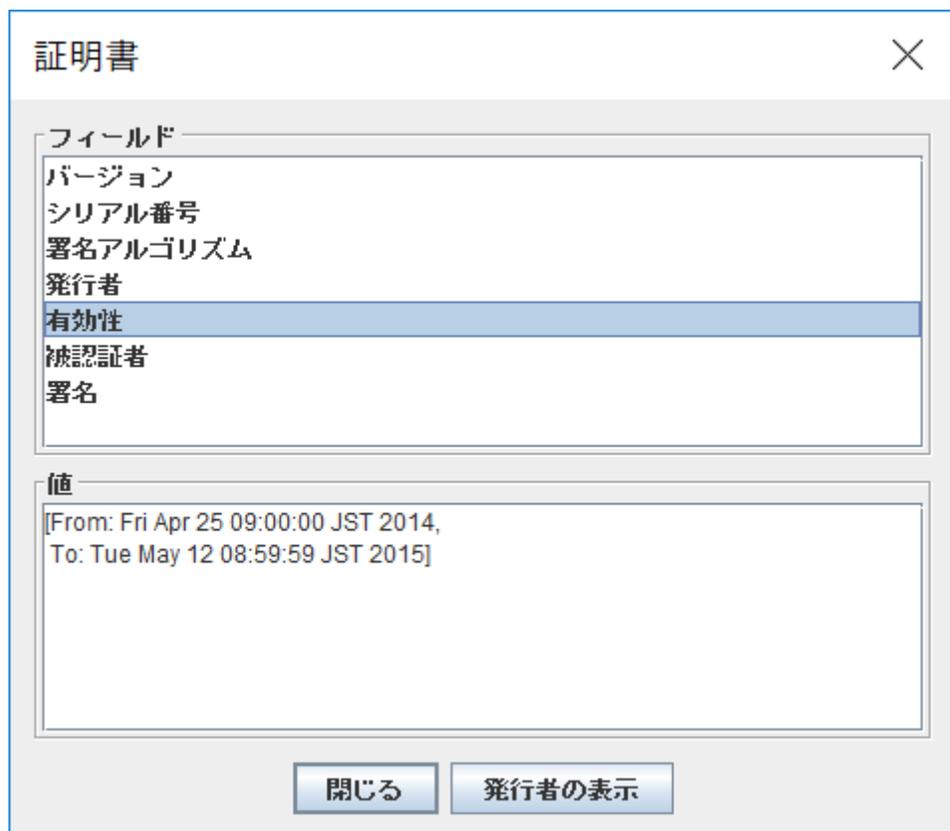
以下に Webjet アプレットの認証ダイアログの例を示します。

以下に、富士通 JRE を使用する場合の Webjet アプレットの認証ダイアログの例を示します。



備考:

- "常に信頼する"ボタンを押すことにより、次回以降、Webjet アプレットを実行する時に、認証ダイアログの表示をスキップできます。
- 富士通 JRE を使用する場合の Webjet アプレットの有効期限は、以下の方法で確認できます。
 1. 認証ダイアログの「詳細…」をクリックします。
 2. 証明書ダイアログが表示されるので、「有効性」をクリックします。
 3. 「有効性」フィールドの値が有効期限になります。



以下に、Oracle JRE を使用する場合の Webjet アプレットの認証ダイアログの例を示します。

修正箇所 (章節項) : 6.25 富士通 JRE と Oracle JRE が共存する端末使用時の注意事項

旧記事

新記事追加

新記事

6.25 富士通 JRE と Oracle JRE が共存する端末使用時の注 意事項

富士通 JRE と Oracle JRE の両方がインストールされた端末では、富士通 JRE 用の Webjet 起動用 HTML と Oracle JRE 用の Webjet 起動用 HTML は、ブラウザの新しいウィンドウを開いて、それぞれ別ブラウザで起動してください。

修正箇所 (章節項) : 8.5.2 運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップ
アプレットパラメタ設定
基本設定

以下の内容は、V29 (U18121 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

基本設定

エミュレーション種別：F6970 F6680

使用するエミュレーション種別を指定します。

新記事

基本設定

動作Java種別：富士通版 Oracle版

使用する Java 実行環境の種別を選択します。

富士通版を選択すると、Interstage Studio クライアント運用パッケージに添付された JRE8 を使用します。Oracle 版を選択すると、Oracle Corporation の JRE8 を使用します。

エミュレーション種別：F6970 F6680

使用するエミュレーション種別を指定します。

修正箇所（章節項）：8.5.3 運用管理 WWW サーバで作成した Webjet 起動用 HTML の編集
Webjet 起動用 HTML の設定例

旧記事

以下に Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書の例を示します。

新記事

以下に、富士通 JRE を使用する場合の Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書の例を示します。

```
<HTML>
<HEAD>
  <META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html; charset=x-sjis">
  <TITLE>webjet</TITLE>
</HEAD>
<BODY>

<OBJECT CLASSID="CLSID:BEA62964-C40B-11D1-AACA-00A0C9216A67" WIDTH="648" HEIGHT="556">

<PARAM NAME="TYPE" VALUE="application/x-JBK-Plugin">
<PARAM NAME="CODEBASE" VALUE="/webjet/WebjetApplet">
<PARAM NAME="CODE" VALUE="webjet.f69.dsp.Tn69Client.class">
<PARAM NAME="ARCHIVE" VALUE="jars/wjet.jar">

<CALL pr_luname>
<PARAM NAME="TERMTYPE" VALUE="FUJITSU-6970-01-WJ02">
<PARAM NAME="LAYOUTKEY" VALUE="10 2">
<PARAM NAME="WINSEPARATE" VALUE="no">
<PARAM NAME="FONTSIZE" VALUE="16">
<PARAM NAME="LOCALFONT" VALUE="no">
<PARAM NAME="NOKEYPANEL" VALUE="no">
<PARAM NAME="VERTBUTTON" VALUE="no">
<PARAM NAME="BGCOLOR" VALUE="black">
<PARAM NAME="CODETYPE" VALUE="ek">
<PARAM NAME="JEFTOJIS" VALUE="83">
<PARAM NAME="BLINK" VALUE="no">
<PARAM NAME="JFIELDFIX" VALUE="no">
<PARAM NAME="SELECTDSP" VALUE="REVERSE">
<PARAM NAME="SELECTCOLOR" VALUE="green">
<PARAM NAME="COLORCOPY" VALUE="no">
<PARAM NAME="WEBJETDIR" VALUE="C:¥WEBJET">
<PARAM NAME="MCRFUNC" VALUE="no">
<PARAM NAME="RASMODE" VALUE="delay">
<PARAM NAME="RASPUT" VALUE="SERVER">
<PARAM NAME="RASFILESIZE" VALUE="1048576">
<PARAM NAME="RASDATASIZE" VALUE="512">
<PARAM NAME="TRACE" VALUE="no">
<PARAM NAME="MIXFONT" VALUE="no">
<PARAM NAME="MAXIMIZE" VALUE="no">
<PARAM NAME="VIRTUALFONT" VALUE="no">
<PARAM NAME="VFONTSIZE" VALUE="16">

<!--CUSTOMIZE-START-->
<!-- ここから CUSTOMIZE-END 行の前まで、管理者のカスタマイズが -->
<!-- 可能です。それ以外の部分は環境設定によって上書きされます-->
<!-- 起動に必要なパラメタ -->
<PARAM NAME="PORTNO" VALUE="23">
<PARAM NAME="FONTSERVERPORT" VALUE="9998">
<PARAM NAME="RASPORT" VALUE="9997">
```

```
<!--- 接続に関するパラメタ --->
<!--- PARAM NAME="HBINTERVAL" VALUE="0"---->
<!--- PARAM NAME="DISCONNECT" VALUE="no"---->
<!--- PARAM NAME="FONTGET" VALUE="ONDEMAND"---->
<!--- PARAM NAME="IDLEWATCH" VALUE="3600"---->
<!--- 標準機能に関するパラメタ --->
<!--- PARAM NAME="BASECOLOR" VALUE="2"---->
<!--- PARAM NAME="DEVMODE" VALUE="2"---->
<!--- PARAM NAME="NUMLOCK" VALUE="modify"---->
<!--- PARAM NAME="DOTONLINE" VALUE="yes"---->
<!--- PARAM NAME="PENTERSPSUP" VALUE="no"---->
<!--- PARAM NAME="JEFTOJIS2004" VALUE="no"---->
<!--- オプション機能に関するパラメタ --->
<!--- PARAM NAME="PERFORMURL" VALUE="no"---->
<!--- PARAM NAME="DEBUGURL" VALUE="yes"---->
<PARAM NAME="OPTIONIO" VALUE="yes">
<!--- PARAM NAME="SAVEPERFORM" VALUE="yes"---->
<PARAM NAME="KEYLOCK" VALUE="yes">
<!--- PARAM NAME="IMFMODE" VALUE="66"---->
<!--- PARAM NAME="SKIPDSP" VALUE="yes"---->
<!--- PARAM NAME="IGNORECURSEL" VALUE="yes"---->
<!--- 画面の表示形式に関するパラメタ --->
<!--- PARAM NAME="WINDOWPOSITION" VALUE="0, 0"---->
<!--- PARAM NAME="TASKTOP" VALUE="0"---->
<!--- PARAM NAME="TASKBOTTOM" VALUE="0"---->
<!--- PARAM NAME="TASKLEFT" VALUE="0"---->
<!--- PARAM NAME="TASKRIGHT" VALUE="0"---->
<!--- PARAM NAME="CPFONTSIZE" VALUE="9"---->
<!--- PARAM NAME="MSGFONTSIZE" VALUE="0"---->
<!--- PARAM NAME="CONFIRMCLOSE" VALUE="yes"---->
<!--- PARAM NAME="USERCLOSE" VALUE="no"---->
<!--- 画面の表示色に関するパラメタ --->
<!--- PARAM NAME="URLCOLOR" VALUE="blue"---->
<!--- PARAM NAME="IMFCOLOR" VALUE="red"---->
<!--- PARAM NAME="ORANGE" VALUE="#e69950"---->
<!--- ローカルコピー機能に関するパラメタ --->
<!--- PARAM NAME="PAPERSIZE" VALUE="b5"---->
<!--- PARAM NAME="PRTMODE" VALUE="landscape"---->
<!--- PARAM NAME="AUTOSCALINGCOPY" VALUE="no"---->
<!--- PARAM NAME="SCALE" VALUE="0.7"---->
<!--- マクロ機能に関するパラメタ --->
<!--- PARAM NAME="MCRSERVNAME" VALUE="A. mcr, B. mcr"---->
<!--- PARAM NAME="MCRAUTOEXECCLIENT" VALUE="yes"---->
<!--- PARAM NAME="MCRCLIENTEXEC" VALUE="yes"---->
```

```
<!-- ファイル転送機能に関するパラメタ --->
<!-- PARAM NAME="DUETSPECIALCODE" VALUE="yes"---->
<!-- PARAM NAME="DUETSERVDIR" VALUE="/duet"---->
<!-- PARAM NAME="DUETCLIENTPARAMFILE" VALUE="yes"---->
<!-- Webjet キーボードに関するパラメタ --->
<!-- PARAM NAME="KEYBOARDUPDATEKEY" VALUE="no"---->
<!-- 保守機能に関するパラメタ --->
<!-- PARAM NAME="RASPREFIX" VALUE="svr01-"---->
<!-- キー割り当てに関するパラメタ --->
<!-- PARAM NAME="NumPad_plus" VALUE="PENTER" ---->
<PARAM NAME="Shift+F1" VALUE="PF13">
<PARAM NAME="Shift+F2" VALUE="PF14">
<PARAM NAME="Shift+F3" VALUE="PF15">
<PARAM NAME="Shift+F4" VALUE="PF16">
<PARAM NAME="Shift+F5" VALUE="PF17">
<PARAM NAME="Shift+F6" VALUE="PF18">
<PARAM NAME="Shift+F7" VALUE="PF19">
<PARAM NAME="Shift+F8" VALUE="PF20">
<PARAM NAME="Shift+F9" VALUE="PF21">
<PARAM NAME="Shift+F10" VALUE="PF22">
<PARAM NAME="Shift+F11" VALUE="PF23">
<PARAM NAME="Shift+F12" VALUE="PF24">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+Left" VALUE="SCROLLLEFT">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+Right" VALUE="SCROLLRIGHT">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+Home" VALUE="HELP">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+End" VALUE="ERSFLD">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+PageUp" VALUE="MENTER">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+F3" VALUE="RESET">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+F4" VALUE="ERSEOF">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+F7" VALUE="ATTN">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+F9" VALUE="PA1">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+F10" VALUE="PA2">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+F11" VALUE="PA3">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+*" VALUE="ENTER">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+Alt+F5" VALUE="ERSINP">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+Alt+F9" VALUE="DUP">
<PARAM NAME="Ctrl+Shift+Alt+F10" VALUE="FM">
<!-- PARAM NAME="DSPPF1" VALUE="ヘルプ"---->
<!-- PARAM NAME="DSPPF2" VALUE="no"---->
<!-- PARAM NAME="MYKEYPANEL" VALUE="PF1 終了, RESET, PA1, SCROLLLEFT"---->
<!-- ここまではカスタマイズが可能です. --->
<!--CUSTOMIZE-END---->

</OBJECT>
</BODY>
</HTML>
```

以下に、Oracle JRE を使用する場合の Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書の例を示します。

当製品に含まれる“サンプルファイル”をもとにして、Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書を“編集”します。

HTML 文書の中の Webjet アプレット(ディスプレイエミュレート画面)を埋め込む位置に、 以下のように **APPLET タグ**を記述してください。

当製品に含まれる“サンプルファイル”をもとにして、Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書を“編集”します。

富士通 JRE を使用する場合、HTML 文書の中の Webjet アプレット(ディスプレイエミュレート画面)を埋め込む位置に、以下のように OBJECT タグを記述してください。

```
<OBJECT CLASSID="CLSID:BEA62964-C40B-11D1-AACA-00A0C9216A67"  
  WIDTH="アプレットの横幅"  
  HEIGHT="アプレットの縦幅">  
  
<PARAM NAME="TYPE" VALUE="application/x-JBK-Plugin">  
<PARAM NAME="CODEBASE" VALUE="Webjet アプレットの位置">  
<PARAM NAME="CODE" VALUE="アプレットファイル名">  
<PARAM NAME="ARCHIVE" VALUE="JAR アーカイブ">  
.....  
</OBJECT>
```

CLASSID :

<OBJECT>タグの CLASSID 属性に、“CLSID : BEA62964-C40B-11D1-AACA-00A0C9216A67”を指定します。

この指定により、Internet Explorer が JBK プラグインを自動的に実行するようになります。

アプレットの横幅 :

<OBJECT>タグの WIDTH 属性に、端末の WWW ブラウザ上に表示される Webjet アプレットの横幅をピクセル単位で指定します。

アプレットの縦幅 :

<OBJECT>タグの HEIGHT 属性に、端末の WWW ブラウザ上に表示される Webjet アプレットの縦幅をピクセル単位で指定します。

パラメタ名、パラメタ値 :

<OBJECT>...</OBJECT>タグの間に、<PARAM>タグを記述します。<PARAM>タグには、アプレットを動作させるために必須の情報や、運用形態に合わせて動作をカスタマイズするための情報など、さまざまなパラメタを記述します。

アプレットの格納位置やファイル名などの必須パラメタを以下に説明します。

TYPE :

"application/x-JBK-Plugin"を指定します。

Webjet アプレットの位置 :

Webjet アプレットの格納位置を指定します。

環境作成時に指定したディレクトリ配下の Webjet ディレクトリを、“公開ディレクトリ”からの相対パスにて指定します。

Webjet アプレット格納位置は、“WebjetApplet”を指定してください。

例:

/var/httpd/htdocs が公開ディレクトリで、その配下の“webjet”を環境作成コマンド(CRTWJETE)で指定した場合

```
<PARAM NAME="CODEBASE" VALUE="/webjet/WebjetApplet">
```

アプレットファイル名 :

Webjet アプレットの class ファイル名を、使用するエミュレーション種別に応じて以下のように指定します。

F6680 ディスプレイエミュレーション webjet.f66.dsp.Tn66Client.class

F6970 ディスプレイエミュレーション webjet.f69.dsp.Tn69Client.class

JAR アーカイブ :

以下のように指定します。

F6680/F6970 ディスプレイエミュレーション

```
<PARAM NAME="ARCHIVE" VALUE="jars/wjet.jar">
```

上記以外のパラメタの設定方法については、“8.6.2 Webjet アプレットのチューニング”を参照してください。

Oracle JRE を使用する場合、HTML 文書の中の Webjet アプレット(ディスプレイエミュレート画面)を埋め込む位置に、以下のように **APPLET タグ**を記述してください。

以下に Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書の設定例を示します。

以下に、富士通 JRE を使用する場合の Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書の設定例を示します。

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Webjet</TITLE>
</HEAD>
<BODY>

<OBJECT CLASSID="CLSID:BEA62964-C40B-11D1-AACA-00A0C9216A67"
        WIDTH="648"
        HEIGHT="556">

<PARAM NAME="TYPE" VALUE="application/x-JBK-Plugin">
<PARAM NAME="CODEBASE" VALUE="/webjet/WebjetApplet">
<PARAM NAME="CODE" VALUE="webjet.f69.dsp.Tn69Client.class">
<PARAM NAME="ARCHIVE" VALUE="jars/wjet.jar">

<!-- 起動に必要なパラメタ -->
<PARAM NAME="PORTNO" VALUE="23">
<PARAM NAME="FONTSERVERPORT" VALUE="9998">
<PARAM NAME="RASPORT" VALUE="9997">
<PARAM NAME="WEBJETDIR" VALUE="c:¥webjet">

</OBJECT>
</BODY>
</HTML>
```

以下に Oracle JRE を使用する場合の Webjet アプレットを貼りつける HTML 文書の設定例を示します。

アプレットパラメタ一覧

- ["表 8.2 起動に必要なパラメタ"](#)
- ["表 8.3 接続に関するパラメタ"](#)
- ["表 8.4 標準機能に関するパラメタ"](#)

- [“表 8.5 オプション機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.6 画面の表示形式に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.7 画面の表示色に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.8 ローカルコピー機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.9 マクロ機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.10 ファイル転送機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.11 Webjet キーボードに関するパラメタ”](#)
- [“表 8.12 保守機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.13 キー割り当てに関するパラメタ”](#)

新記事

アプレットパラメター一覧

- [“表 8.2 起動に必要なパラメタ”](#)
- [“表 8.3 接続に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.4 標準機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.5 オプション機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.6 画面の表示形式に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.7 画面の表示色に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.8 ローカルコピー機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.9 マクロ機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.10 ファイル転送機能に関するパラメタ”](#)

- [“表 8.11 Webjet キーボードに関するパラメタ”](#)
- [“表 8.12 保守機能に関するパラメタ”](#)
- [“表 8.13 キー割り当てに関するパラメタ”](#)

注意：

Java 実行環境に富士通 JRE を使用する場合、アプレットパラメタ DEBUGURL の指定は無効です。それ以外のアプレットパラメタは Oracle JRE を使用する場合と同じです。

修正箇所（章節項）：8.8 JavaScript 連携のセットアップ

旧記事

Webjet 起動用 HTML のコード系を指定する

WWW ブラウザは HTML 文書のコード系が何であることを自動的に識別していますが、必ずしも期待通りのコード系として識別してくれるとは限りません。もし誤ったコード系として認識されると、異常な動作をしたり、解析できないスクリプトエラーが表示されたりします。

上記の理由により、JavaScript 連携を使用する Webjet 起動用 HTML には正しいコード系を明記してください。以下に指定例を示します。

- SJIS コードで編集した場合

```
<META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html; charset=Shift_JIS">
```

- EUC コードで編集した場合

```
<META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html; charset=EUC-JP">
```

Webjet アプレットに名前を付ける

JavaScript から Webjet アプレットにアクセスするための識別子となる名前を、APPLET タグの NAME 属性で指定します。

Webjet アプレットを一意に識別できる名前なら、どんなものでも構いません。以下に指定例を示します。

```
<APPLET .....省略..... NAME="webjet">
```

```
.....
```

```
<APPLET>
```

新記事

JBK プラグインの設定ファイルを修正する

富士通 JRE を使用する場合、JBK プラグインの設定ファイル(jbkplugin.properties)に、JavaScript 連携を使用する旨の記述が必要です。

JBK プラグインの設定ファイルは、Interstage Studio クライアント運用パッケージのインストールフォルダの以下の場所に格納されています。

C:¥Interstage¥IDE¥JBK¥classes (デフォルト値)

以下の行を記述します。

```
# JavaScript からのアプレットのメソッド呼び出しの指定  
jbk.plugin.sw.script.enable=true
```

```
true
```

JavaScript からアプレットのメソッド呼び出しを利用する

インストールフォルダ配下のファイルを直接更新できない場合は、更新可能なフォルダに JBK プラグインの設定ファイルを一旦移動し、更新後にインストールフォルダ配下へ再度格納してください。

Webjet 起動用 HTML のコード系を指定する

WWW ブラウザは HTML 文書のコード系が何であることを自動的に識別していますが、必ずしも期待通りのコード系として識別してくれるとは限りません。もし誤ったコード系として認識されると、異常な動作をしたり、解析できないスクリプトエラーが表示されたりします。

上記の理由により、JavaScript 連携を使用する Webjet 起動用 HTML には正しいコード系を明記してください。以下に指定例を示します。

- SJIS コードで編集した場合

```
<META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html; charset=Shift_JIS">
```

- EUC コードで編集した場合

```
<META HTTP-EQUIV="Content-Type" CONTENT="text/html; charset=EUC-JP">
```

Webjet アプレットに名前を付ける

JavaScript から Webjet アプレットにアクセスするための識別子となる名前を、**OBJECT タグ**または **APPLET タグ**の **NAME** 属性で指定します。Webjet アプレットを一意に識別できる名前なら、どんなものでも構いません。

以下に富士通 JRE を使用する場合の指定例を示します。

```
<OBJECT .... 省略..... NAME="webjet">  
  
.....  
  
</OBJECT>
```

以下に Oracle JRE を使用する場合の指定例を示します。

```
<APPLET .... 省略..... NAME="webjet">
```

```
.....
```

```
</APPLET>
```

修正箇所 (章節項) : 8.12 サンプルファイル一覧

以下の内容は, V29 (U18121 適用時以降) に限定される記事です.

旧記事

サンプルファイルに記述されている APPLETTAG タグを編集する場合には, "8.6.1 Webjet 起動用 HTML の編集"を参照してください.

各端末種別のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample66J6.html

TopDir/WebjetSamples/Sample69J6.html

マクロのサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Signon69.mcr(自動サインオンサンプル)

TopDir/WebjetSamples/Duet69.mcr(ファイル転送サンプル)

JavaScript 連携のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/JavaScript69J6.html

K 端末エミュレータキーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69J6KKB.html

"カラーサンプルアプレット"のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/ColorSample.html

※TopDir : CRTWJETE で環境作成時に指定した Webjet 運用ディレクトリのパス

Webjet キーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69WJKBR.html(Webjet キーボードを画面右に配置)

TopDir/WebjetSamples/Sample69WJKBU.html(Webjet キーボードを画面下に配置)

カスタマイズキーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69CKB.html

カスタマイズ定義ファイルのサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/CustomizeKB.txt

新記事

サンプルファイルに記述されている **OBJECT タグ**,または **APPLET タグ**を編集する場合には,“8.6.1 Webjet 起動用 HTML の編集”を参照してください.

富士通 JRE 用

各端末種別のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample66FJ.html

TopDir/WebjetSamples/Sample69FJ.html

JavaScript 連携のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/JavaScript69FJ.html

K 端末エミュレータキーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69KKBFJ.html

“カラーサンプルアプレット”のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/ColorSampleFJ.html

Webjet キーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69WJKBRFJ.html(Webjet キーボードを画面右に配置)

TopDir/WebjetSamples/Sample69WJKBUFJ.html(Webjet キーボードを画面下に配置)

カスタマイズキーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69CKBFJ.html

Oracle JRE 用

各端末種別のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample66J6.html

TopDir/WebjetSamples/Sample69J6.html

JavaScript 連携のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/JavaScript69J6.htmlK 端末エミュレータキーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69J6KKB.html

“カラーサンプルアプレット”のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/ColorSample.html

Webjet キーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69WJKBR.html(Webjet キーボードを画面右に配置)

TopDir/WebjetSamples/Sample69WJKBU.html(Webjet キーボードを画面下に配置)

カスタマイズキーボード使用時のサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Sample69CKB.html

富士通 JRE/Oracle JRE 共通

マクロのサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/Signon69.mcr(自動サインオンサンプル)

TopDir/WebjetSamples/Duet69.mcr(ファイル転送サンプル)

カスタマイズ定義ファイルのサンプルファイル

TopDir/WebjetSamples/CustomizeKB.txt

※1.TopDir : CRTWJETE で環境作成時に指定した Webjet 運用ディレクトリのパス

※2.JavaScript 連携のサンプルファイルで使用している関数"Type"と"Wait"は, Internet Explorer では正常に動作しない場合があります. その場合は, 関数名 n (n : 引数の数) で定義している関数 ("Type1"と"Wait5") を使用してください. 関数の詳細については, 「8.8.1 JavaScript 連携の関数」を参照してください.

修正箇所 (章節項) : 9.1.2 WWW ブラウザの Java 動作情報

旧記事

9.1.2 WWW ブラウザの Java 動作情報

Webjet アプレットに異常が発生した場合その内容を示す文字列および発生箇所までのスタックトレースが WWW ブラウザの機能として採取されます. WWW ブラウザでの参照方法の例を以下に示します.

Java Plug-in の場合

Java コンソール画面で参照します.

Java コンソール画面は, タスクバーに表示された, Java Plug-in アイコンを右クリックし, "コンソールを開く"をクリックすることにより表示されます.

WWW ブラウザで採取される情報の例を以下に示します。

```
-----  
Webjet Exception Error.  
  errno = 30  
  errkind = 1  
  msg = Tn66TcpControl: Socket close accept.  
webjet.com.WjException: Tn66TcpControl: Socket close accept.  
  at webjet/f66/core/Tn66TcpControl.read  
  at webjet/f66/core/Tn66TcpControl.run  
  at java/lang/Thread.run  
-----
```

新記事

9.1.2 Java 動作情報

富士通 JRE を使用した場合、Webjet アプレットに異常が発生した際は、その内容を示す文字列および発生箇所までのスタックトレースが採取され、Java コンソールに表示されます。Java コンソールは、アプレットにフォーカスがある状態で [Ctrl]+[Alt]+[Insert] キーを押すと表示されます。

修正箇所 (章節項): 付録 B トラブルシューティング B.1 現象一覧

旧記事

新記事追加

新記事

["No.61"](#)

富士通 JRE 用の Webjet 起動用 HTML を起動すると、JBK プラグインのダイアログに以下のエラーが表示され、

Webjet アプレットが起動されません。

「エラー : Java VM の起動に失敗しました。使用する JDK/JRE が正しくインストールされているか、またはすでにほかの Java VM が起動されていないか確認してください。」

“No.62”

Oracle JRE 用の Webjet 起動用 HTML を起動すると、デスクトップ上にエラーログのファイル
hs_err_pid9999.log(9999 は任意の数字) が作成され、ブラウザ下部に以下のエラーが表示されます。

「この Web ページに問題があるため Internet Explorer のタブを開き直しました」

“No.63”

富士通 JRE 用の Webjet 起動用 HTML で、JavaScript 連携の関数が動作しません。

修正箇所 (章節項) : 付録 B トラブルシューティング B.2 原因と対処

旧 記 事

新記事追加

新 記 事

富士通 JRE 用の Webjet 起動用 HTML を起動すると、JBK プラグインのダイアログに以下のエラーが表示され、Webjet アプレットが起動されません。

No.61

「エラー : Java VM の起動に失敗しました。使用する JDK/JRE が正しくインストールされているか、またはすでにほかの Java VM が起動されていないか確認してください。」

原因 :

Java 実行環境として、Oracle JRE と富士通 JRE の両方がインストールされており、先に Oracle JRE を使用した Webjet アプレットが起動された後、同じブラウザで富士通 JRE を使用した Webjet アプレットを起動したためです。

対処 :

すべてのブラウザを閉じて、しばらく待ってから富士通 JRE を使用した Webjet アプレットを再起動してください。
Java 実行環境として Oracle JRE を使用しない場合は、アンインストールしてください。

No.62 Oracle JRE 用の Webjet 起動用 HTML を起動すると、ブラウザ下部に以下のエラーが表示され、デスクトップ上にエラーログのファイル hs_err_pid9999.log(9999 は任意の数字) が作成されます。

「この Web ページに問題があるため Internet Explorer のタブを開き直しました」

原因：

Java 実行環境として、Oracle JRE と富士通 JRE の両方がインストールされており、先に富士通 JRE 用の Webjet 起動用 HTML を起動し、同じブラウザで Oracle JRE 用の Webjet 起動用 HTML を起動したためです。

対処：

Webjet アプレットは起動されますが、一旦、すべてのブラウザを閉じてください。しばらく待ってから Oracle JRE を使用した Webjet アプレットを再起動してください。

No.63 富士通 JRE 用の Webjet 起動用 HTML で、JavaScript 連携の関数が動作しません。

原因：

以下のどれかの原因が考えられます。

1. JBK プラグインの設定ファイル(jbkplugin.properties)に、JavaScript 連携を使用する旨の記述がないためです。
2. Webjet 起動用 HTML の OBJECT タグに、NAME 属性を指定していないためです。
3. Webjet 起動用 HTML の OBJECT タグに指定した NAME 属性と、JavaScript 連携の関数呼出しの際に記述したアプレット識別名が一致していないためです。

対処：

以下のどれかの方法で対処してください。

1. JBK プラグインの設定ファイル(jbkplugin.properties)に、JavaScript 連携を使用する旨の行を記述してください。
2. Webjet 起動用 HTML の OBJECT タグに、NAME 属性を指定してください。NAME 属性には、JavaScript から Webjet アプレットにアクセスするための識別子となる名前（アプレット識別名）を指定します。

3. Webjet 起動用 HTML に記述する JavaScript 連携の関数には、以下の形式でアプレット識別名を記述します。

document.アプレット識別名.関数名(パラメタ...)

アプレット識別名には、Webjet 起動用 HTML の OBJECT タグに指定した NAME 属性と同じ名前を記述してください。

2017 年 6 月 23 日発行

修正箇所 (章節項) : 6.24 マウスによるカーソルの移動について

旧記事

新記事追加

新記事

6.24 マウスによるカーソルの移動について

ディスプレイエミュレート画面で、マウスをダブルクリックすると、マウスポインタの位置にカーソルが移動します。ただし、ダブルクリック位置がライトペン検知可フィールド、または拡張項目選択フィールド (F6970 ディスプレイエミュレーションの場合) であった場合は、アプレットパラメタ “IGNORECURSEL” の設定内容によって以下のような動作となります。

アプレットパラメタ “IGNORECURSEL” が “yes” の場合
カーソルセレクト動作を行わず、カーソル移動します。

アプレットパラメタ “IGNORECURSEL” が “no” の場合 (デフォルト)
カーソルセレクト動作を行います。

マウスによるカーソルセレクト動作を利用せず、カーソルを移動させたい場合は、アプレットパラメタ “IGNORECURSEL” に “yes” を設定してください。

2016 年 10 月 5 日発行

修正箇所 (章節項) : 5.23 ディスプレイ解像度について

以下の内容は、V29 (U16091 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

高解像度のディスプレイを使用した場合、Webjet のメニューバー、コントロールパネル、キーパネル、カスタマイズキーボードのエラーメッセージなどの文字サイズが小さく表示されます。

高解像度のディスプレイで Webjet を使用する場合は、文字が視認可能な解像度に変更してください。

推奨するディスプレイ解像度は 1600 × 900 以下です。

新記事

高解像度のディスプレイを使用した場合、Webjet のメニューバー、コントロールパネル、キーパネル、カスタマイズキーボードのエラーメッセージなどの文字サイズが小さく表示されます。

高解像度のディスプレイで Webjet を使用する場合は、以下のどちらかの方法で文字サイズを調整してください。

1) 解像度の変更

文字が視認可能な解像度に変更してください。推奨するディスプレイ解像度は 1600×900 以下です。

2) 文字サイズの拡大

下記のアプレットパラメタを設定し、文字サイズを大きくしてください。

- ・アプレットパラメタ” FONTSIZE” または” VFONTSIZE”
ディスプレイエミュレート画面のフォントサイズを指定します。
- ・アプレットパラメタ” CPFONTSIZE”
コントロールパネル、およびメニューバー上に表示するボタンのラベルのフォントサイズを指定します。
- ・アプレットパラメタ” MSGFONTSIZE”
エラーメッセージ、ダイアログ上のラベルやボタン、キーパネル、および機能キーのフォントサイズを指定します。

注意:

- ・アプレットパラメタ” CPFONTSIZE”、およびアプレットパラメタ” MSGFONTSIZE” は、ディスプレイエミュレート画面のフォントサイズと同程度になるように指定してください。

修正箇所 (章節項) : 8.5.2 運用管理 WWW サーバからの Webjet のセットアップ [アプレットパラメタ設定]表示設定:仮想フォントサイズ以下の内容は、V29 (U16091 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

(注) - : この画面解像度での使用を推奨しません。

“Webjet キーボードの使用 : あり”の推奨値は、デフォルトキーボードの表示結果を元にしています。
メニューバー表示あり/キーパネル表示なし/タスクバー表示なしの場合の表示可能フォントサイズです。
キーパネルやタスクバーを表示する場合、表記のサイズで正しく表示されないことがあるため、必要に応じて仮想フォントサイズの指定値を小さくしてください。

新記事

(注) - : この画面解像度での使用を推奨しません。

“Webjet キーボードの使用 : あり”の推奨値は、デフォルトキーボードの表示結果を元にしています。
メニューバー表示あり/キーパネル表示なし/タスクバー表示なしの場合の表示可能フォントサイズです。
メニューバーのフォントサイズを大きくしている場合、およびキーパネルやタスクバーを表示する場合、
表記のサイズで正しく表示されないことがあるため、必要に応じて仮想フォントサイズの指定値を小さくしてください。

修正箇所 (章節項) : 8.5.3 運用管理 WWW サーバで作成した Webjet 起動用 HTML の編集

以下の内容は、V29 (U16091 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

```
<!--CUSTOMIZE-START-->
```

から

```
<!--CUSTOMIZE-END-->
```

までの行は編集が可能です。それ以外の行は編集しないでください。運用管理 WWW サーバからの環境設定を行うと、上記範囲以外は上書きされます。

パラメタの詳細については“8.6.2 Webjet アプレットのチューニング”を参照してください。

また運用管理 WWW サーバで設定するパラメタは運用管理 WWW サーバから設定してください。

運用管理 WWW サーバから設定した場合には、いくつかのキーの設定がされています。詳しくは“13.4.3 運用管理 WWW サーバから設定した場合のエミュレートキー割り当て一覧”を参照してください。

新記事

```
<!--CUSTOMIZE-START-->
```

から

```
<!--CUSTOMIZE-END-->
```

までの行は編集が可能です。それ以外の行は編集しないでください。運用管理 WWW サーバからの環境設定を行うと、上記範囲以外は上書きされます。

パラメタの詳細については“8.6.2 Webjet アプレットのチューニング”を参照してください。

また運用管理 WWW サーバで設定するパラメタは運用管理 WWW サーバから設定してください。

運用管理 WWW サーバから設定した場合には、いくつかのキーの設定がされています。詳しくは“13.4.3 運用管理 WWW サーバから設定した場合のエミュレートキー割り当て一覧”を参照してください。

注意:

定期修正 U16091 適用前に運用管理 WWW サーバの Webjet 端末環境設定ページで作成した Webjet 起動用 HTML には、アプレットパラメタ”MSGFONTSIZE”が設定されていません。

定期修正 U16091 適用後に、アプレットパラメタ”MSGFONTSIZE”を使用する場合は、ファイルを直接編集してパラメタを追加してください。

修正箇所 (章節項) : 8.5.3 運用管理 WWW サーバで作成した Webjet 起動用 HTML の編集「Webjet 起動用 HTML の設定例」

以下の内容は、V29 (U16091 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

```
<!-- 画面の表示形式に関するパラメタ -->
<!-- PARAM NAME="WINDOWPOSITION"      VALUE="0,0" -->
<!-- PARAM NAME="TASKTOP"              VALUE="0" -->
<!-- PARAM NAME="TASKBOTTOM"           VALUE="0" -->
<!-- PARAM NAME="TASKLEFT"             VALUE="0" -->
<!-- PARAM NAME="TASKRIGHT"            VALUE="0" -->
<!-- PARAM NAME="CPFONTSIZE"            VALUE="9" -->
<!-- PARAM NAME="CONFIRMCLOSE"          VALUE="yes" -->
<!-- PARAM NAME="USERCLOSE"             VALUE="no" -->
```

```

<!-- 画面の表示形式に関するパラメタ --->
<!-- PARAM NAME="WINDOWPOSITION"    VALUE="0,0"---->
<!-- PARAM NAME="TASKTOP"            VALUE="0"---->
<!-- PARAM NAME="TASKBOTTOM"         VALUE="0"---->
<!-- PARAM NAME="TASKLEFT"           VALUE="0"---->
<!-- PARAM NAME="TASKRIGHT"          VALUE="0"---->
<!-- PARAM NAME="CPFSIZE"            VALUE="9"---->
<!-- PARAM NAME="MSGFSIZE"           VALUE="0"---->
<!-- PARAM NAME="CONFIRMCLOSE"       VALUE="yes"---->
<!-- PARAM NAME="USERCLOSE"          VALUE="no"---->

```

修正箇所 (章節項) : 8.6.1 Webjet 起動用 HTML の編集「アプレットサイズについて」

以下の内容は、V29 (U16091 適用時以降) に限定される記事です。

Webjet アプレットの横幅と縦幅により、ディスプレイエミュレート画面で使用されるフォントのサイズが決まります。有効な横幅/縦幅の組み合わせと、その時に使用されるフォントサイズの対応を以下に示します。なお、「コントロールパネル」を表示する場合は、以下に示す HEIGHT の値に 45 をプラスしてください。アプレットパラメタ [“FONTSIZE”](#) を指定した場合に使用されるフォントサイズは、下の表に示す WIDTH および HEIGHT の値にかかわらずアプレットパラメタ [“FONTSIZE”](#) に指定した値になります。アプレットパラメタ [“FONTSIZE”](#) を指定しない場合に、ディスプレイエミュレート画面で使用されるフォントサイズは、Webjet アプレットの横幅と縦幅により、3つ (12, 16, 24 ドット) の中から最適なものに決まります。

(WIDTH, HEIGHT)			フォントサイズ(ドット)
キーパネル下表示	キーパネル横表示	キーパネル非表示	
(486, 456)	(608, 406)	(486, 403)	12 注)
(648, 556)	(770, 506)	(648, 503)	16
(972, 756)	(1094, 706)	(972, 703)	24

Webjet アプレットの横幅と縦幅により、ディスプレイエミュレート画面で使用されるフォントのサイズが決まります。有効な横幅/縦幅の組み合わせと、その時に使用されるフォントサイズの対応を以下に示します。アプレットパラメタ [“FONTSIZE”](#) を指定した場合に使用されるフォントサイズは、下の表に示す WIDTH および HEIGHT の値にかかわらずアプレットパラメタ [“FONTSIZE”](#) に指定した値になります。アプレットパラメタ [“FONTSIZE”](#) を指定しない場合に、ディスプレイエミュレート画面で使用されるフォントサイズは、Webjet アプレットの横幅と縦幅により、3つ (12, 16, 24 ドット) の中から最適なものに決まります。

(WIDTH, HEIGHT)			フォントサイズ(ドット)
キーパネル下表示	キーパネル横表示	キーパネル非表示	
(486, 456)	(608, 406)	(486, 403)	12 注)

(WIDTH, HEIGHT)			フォントサイズ(ドット)
キーパネル下表示	キーパネル横表示	キーパネル非表示	
(648, 556)	(770, 506)	(648, 503)	16
(972, 756)	(1094, 706)	(972, 703)	24

なお、「コントロールパネル」を表示する場合は、上の表に示す HEIGHT の値に「コントロールパネル」の縦幅をプラスしてください。「コントロールパネル」の縦幅は、以下のとおりです。

アプレットパラメタ”CPFONTSIZE”を指定していない場合、および指定値が9~12の場合：45
アプレットパラメタ”CPFONTSIZE”の指定値が0または13~24の場合：55

修正箇所(章節項)： 8.6.2 Webjet アプレットのチューニング「表 8.6 画面の表示形式に関するパラメタ」
以下の内容は、V29 (U16091 適用時以降)に限定される記事です。

旧 記 事

表 8.6 画面の表示形式に関するパラメタ

パラメタ名	意味	設定する値	デフォルト値	設定可能なエミュレーション種別	
				F6680	F6970
CPFONTSIZE	コントロールパネル上に表示するメニューのラベルのフォントサイズを指定	9~12	12	○	○
VERTBUTTON	キーパネルの表示位置の指定	yes no	no	○	○

新 記 事

表 8.6 画面の表示形式に関するパラメタ

パラメタ名	意味	設定する値	デフォルト値	設定可能なエミュレーション種別	
				F6680	F6970
CPFONTSIZE	コントロールパネル,およびメニューバー上に表示するメニューのラベルのフォントサイズを指定	0 9~24	12	○	○

パラメタ名	意味	設定する値	デフォルト値	設定可能なエミュレーション種別	
				F6680	F6970
MSGFONTSIZE	メッセージやダイアログのフォントサイズの指定	0 9~24	なし	○	○
VERTBUTTON	キーパネルの表示位置の指定	yes no	no	○	○

修正箇所 (章節項) : 8.6.2 Webjet アプレットのチューニング「パラメタの詳細」

以下の内容は、V29 (U16091 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

CPFONTSIZE

コントロールパネル上に表示するボタンのラベルのフォントサイズを指定します。本パラメタ省略時にはラベルのフォントサイズを 12 とします。なお、通常はデフォルト値で問題ありません。

設定範囲 : 9~12

VERTBUTTON

キーパネルを表示する位置(ディスプレイエミュレート画面の下, ディスプレイエミュレート画面の右横)を指定します。本パラメタ省略時は, ディスプレイエミュレート画面の下に表示します。

- Yes : ディスプレイエミュレート画面の右横に表示します
no : ディスプレイエミュレート画面の下に表示します(デフォルト)

新記事

CPFONTSIZE

コントロールパネル, およびメニューバー上に表示するボタンのラベルのフォントサイズを指定します。本パラメタ省略時にはラベルのフォントサイズを 12 とします。通常, 本パラメタの指定は不要です。高解像度のディスプレイを使用していて, 文字が小さく見にくい場合は, 0 を指定するか, 見やすいフォントサイズを指定してください。

設定範囲

- 0 : Webjet 起動時のディスプレイエミュレート画面のフォントサイズにより, 適切なフォントサイズで表示されます
Webjet 起動後にディスプレイエミュレート画面のサイズをマウスや即時変更画面で変更しても, フォントサイズは変わりません

注意事項

- 本パラメタで指定したフォントサイズに合わせて、コントロールパネルまたはメニューバーの縦幅が変わります。コントロールパネルまたはメニューバーの縦幅が大きくなると、以下のような表示結果になる場合があります。
 - 1) 仮想フォントを使用してフルスクリーンサイズで表示すると、ディスプレイエミュレート画面のフォントサイズが本パラメタ指定前より小さくなる場合があります。
 - 2) 仮想フォントを使用してフォントサイズで表示すると、ディスプレイエミュレート画面の下部がデスクトップ領域外にはみ出し、すべて表示できない場合があります。

MSGFONTSIZE

エラーメッセージ、ダイアログ上のラベルやボタン、キーパネル、および機能キーのフォントサイズを指定します。本パラメタ省略時には、これらのフォントサイズは指定なしとします（従来どおりのサイズで表示されます）。通常、本パラメタの指定は不要です。高解像度のディスプレイを使用していて、文字が小さく見にくい場合は、0を指定するか、見やすいフォントサイズを指定してください。

設定範囲

- 0 : Webjet 起動時のディスプレイエミュレート画面のフォントサイズにより、適切なフォントサイズで表示されます
Webjet 起動後にディスプレイエミュレート画面のサイズをマウスや即時変更画面で変更しても、フォントサイズは変わりません
- 9~24 : 指定されたフォントサイズ固定で表示されます
9 から 24 まで、1 ドット毎に指定できます（デフォルトは指定なし）

VERTBUTTON

キーパネルを表示する位置（ディスプレイエミュレート画面の下、ディスプレイエミュレート画面の右横）を指定します。本パラメタ省略時は、ディスプレイエミュレート画面の下に表示します。

- yes : ディスプレイエミュレート画面の右横に表示します
- no : ディスプレイエミュレート画面の下に表示します（デフォルト）

2016年8月31日発行

修正箇所（章節項）： 8.9.5 Conditions:パラメタ

旧記事

本パラメタを定義すると、条件文字列に該当する文字列がディスプレイエミュレート画面に表示され、指定した入力可能な領域にカーソルが移動したとき、カスタマイズキーボードが自動的に表示されます。

新記事

本パラメタを定義すると、**画面遷移後**、条件文字列に該当する文字列がディスプレイエミュレート画面に表示され、指定した入力可能な領域にカーソルが移動したとき、カスタマイズキーボードが自動的に表示されます。

画面遷移は、以下の場合に行われます。

- ディスプレイエミュレート画面へのキー入力により、画面が切り替わったとき（例：サインオン操作画面にプロフィール名を入力後、コマンド操作画面が表示される）

- ・利用者プログラムにおいて、メッセージ定義体を出力したとき
- ・利用者プログラムにおいて、処理種別に”全画面消去出力”を指定して出力したとき

条件文字列に該当する文字列をディスプレイエミュレート画面に入力しても、上記のような画面遷移が行われていない場合は、カスタマイズキーボードが自動表示されません。

修正箇所 (章節項) : 16.11.4 自動表示

旧記事

各キーボードの表示条件の条件文字列は、ディスプレイエミュレート画面上の文字列と完全一致で照合されます。一致した場合、表示条件のカーソル位置の定義と現在のカーソル位置が照合されます。現在のカーソル位置が定義の範囲内に位置付けられているとき、該当のカスタマイズキーボードが自動的に前面に表示されます。

新記事

各キーボードの表示条件の条件文字列は、**画面遷移後**、ディスプレイエミュレート画面上の文字列と完全一致で照合されます。一致した場合、表示条件のカーソル位置の定義と現在のカーソル位置が照合されます。現在のカーソル位置が定義の範囲内に位置付けられているとき、該当のカスタマイズキーボードが自動的に前面に表示されます。

以下の場合に画面遷移が行われ、表示条件の条件文字列とディスプレイエミュレート画面上の文字列が照合されます。

- ・ディスプレイエミュレート画面へのキー入力により、画面が切り替わったとき (例: サインオン操作画面にプロフィール名を入力後、コマンド操作画面が表示される)
- ・利用者プログラムにおいて、メッセージ定義体を出力したとき
- ・利用者プログラムにおいて、処理種別に”全画面消去出力”を指定して出力したとき

条件文字列に該当する文字列をディスプレイエミュレート画面に入力しても、上記のような画面遷移が行われていない場合には照合されないため、カスタマイズキーボードが自動表示されません。

2015年10月23日発行

修正箇所 (章節項) : 8.9.6.5 プロフィール名指定

旧記事

プロフィール名指定により、プロフィール固有のカスタマイズキーボードを表示できます。プロフィール名指定は、カスタマイズ定義ファイルに記述します。カスタマイズ定義ファイルにプロフィール名が定義されている場合、サインオン時に入力されたプロフィール名とカスタマイズ定義ファイルに定義されたプロフィール名が一致するキーが表示されます。

プロフィール名指定の記述形式は、以下のとおりです。

新記事

プロフィール名指定により、プロフィール固有のカスタマイズキーボードを表示できます。プロフィール名指定は、カスタマイズ定義ファイルに記述します。カスタマイズ定義ファイルにプロフィール名が定義されている場合、

サインオン時に入力されたプロフィール名とカスタマイズ定義ファイルに定義されたプロフィール名が一致するキーが表示されます。

カスタマイズキーボードのプロフィール名指定は、ディスプレイエミュレート画面の左下部（24行11桁）に表示される「ジョブ識別子(ジョブ名.プロフィール名)」を参照しています。



ディスプレイエミュレート画面上に「ジョブ識別子(ジョブ名.プロフィール名)」を表示しない場合、カスタマイズキーボードのプロフィール名指定は無効になります。

カスタマイズキーボードのプロフィール名指定を有効にする場合、操作環境記述などの設定により、ディスプレイエミュレート画面の左下部に「ジョブ識別子(ジョブ名.プロフィール名)」を表示してください。

プロフィール名指定の記述形式は、以下のとおりです。